業務部速報

No.　56
発行　23. 2. 1
JR東労組　業務部

「新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて」提案を受ける！

1月31日JR東労組は「新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて」の提案を受けました。以下、提案内容です。

生産年齢人口の減少という社会的背景のもと、新幹線車両の検査をサスティナブルに行っていくため、検査体制の見直しが必要となります。これまで以上に教育や各種施策に取組み、車両品質の維持・向上と社員の成長を目的として、下記のとおり実施していく。

～新幹線車両センター交番検査体制の見直し～

１．実施箇所　　新潟新幹線車両センター、　長野新幹線車両センター

２．内　　容

（１）新潟新幹線車両センター

	体制	
	現行	変更後
E2系	14	14
E7系	15	12

（２）長野新幹線車両センター

	体制	
	現行	変更後
E7系	15	11

３．スケジュール
2023年４月１日実施

内容	2022年度	2023年度
	1月下旬　2月　3月	4月
社員周知	→	
準備（手順書等の整備、教育）	→	
体制変更開始		▼開始（4月1日）

４．箇所体制

		現行			改正			記事
		変形等	交代	計	変形等	交代	計	
新潟新幹線車両センター	管理	6	1	7	6	1	7	
	一般	40	4	44	39	4	43	
長野新幹線車両センター	管理	5	1	6	5	1	6	
	一般	25	7	32	21	7	28	現行の表記は2022年12月22日に提案した箇所体制としている

※業務の繁閑等に応じて１日当りの出面数（作業ダイヤ数）を柔軟に設定する。
※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

主な議論

（体制変更について）新潟では３名、長野では４名の減になる。今後、長野では、上回りと下回り作業が一緒になる。新潟においては、先頭号車と運転台を一緒に作業する。また、現在新潟ではデータ入力まで行っているので、長野と新潟では１名の違いがある。方向性は決まっているが、現場で議論してもらい微調整を行う。

（持ち替えについて）新潟と長野は、E7系の交番検査を担当する。持ち替えという意味なので、今と変わらない。ただ、異常時などあった場合は福島県沖地震のようなこともある。

（一昨年の業務見直しについて）一昨年、新潟において業務執行体制の見直しを行い、車両管理グループ・輸送管理グループで分け融合しやすい体制となり、色々なことを取り組める環境になった。

JR東労組から「安全・健康・ゆとり」ある職場をつくり出そう！